



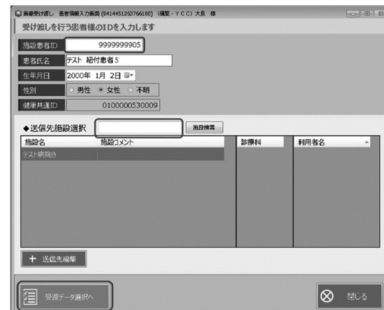
MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 105

画像受渡機能の活用事例

デジタル化の遅れが指摘されている我が国の医療分野ですが、県内ではMMWINが提供する各種サービスの利用を見直す医療機関が増加しております。その1つのサービスとして、画像受渡機能があります。本機能の特徴は以下のとおりです。

- 1：MMWINのネットワークを介することで、安全な通信網で受渡先と画像情報を授受できます
- 2：MMWINに加入していない患者さんの情報も取り扱えます
- 3：自院PACSとの接続により、PACSからの出力、PACSへの取り込みも容易です



画像受渡機能の利用による一般的なメリットとして、紹介元で記録媒体（CD-R等）の作成が不要になるほか、紹介施設側の取り込み作業の時間帯が分散でき、患者さんの待ち時間解消等も期待できることが挙げられます。画像レポートを開示している施設（主に病院）もあり、MMWIN内で併せて参照が可能です。

実際に画像受渡機能をご利用いただいております、かんのリズムハートクリニック 院長 菅野裕幸先生に、その利用方法についてお話を伺いました。

開業して7年目に入りますが、昨年、電子カルテ更新のタイミングで画像受渡機能のシステムを導入しました。主に、公立刈田総合病院にCTやMRI検査を依頼する際に利用しています。循環器領域の造影CT検査や、カテーテル検査などはデータ量が多く、CD-Rが複数になるケースもありますので、画像受け渡し機能はデータ量の観点からもメリットがあると思います。



かんのリズムハートクリニック院長
菅野裕幸先生

今後の期待として病院のサーバーのように画像が閲覧でき、レポートも参照できることでしょうか。紹介の際も、自院の胸部Xp写真や超音波検査の画像が送信できるようになると、利便性がアップするかと思います。

今後は基幹病院の先生方や地域連携室などのご協力をいただき、画像検査の依頼や、画像受け渡しのシステムがなおスムーズで、一番に患者さんにとってメリットのあるシステムとなることを期待しています。

今後は基幹病院の先生方や地域連携室などのご協力をいただき、画像検査の依頼や、画像受け渡しのシステムがなおスムーズで、一番に患者さんにとってメリットのあるシステムとなることを期待しています。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。